

2007 年度

科目名 社会福祉演習 I	対象学科・学年 教育教保 3 回生	担当者 船本 淑恵
授業テーマ 社会福祉士資格取得に向け、社会福祉の基本的な考え方と基礎的な知識を習得し、学習方法を身につける。		
授業の概要と目標 ①社会福祉の知識を体系的に理解する。②主体的な学習姿勢を身につける。③合理的学習方法を習得する。④相互学習を行い、協力しあう関係を形成する。 報告、討議等を行うため、受講者の主体的、積極的な参加を望む。資格取得は、自学自習の受験勉強が結果に反映されるが、この演習では共同作業を重視し、学習ノートを作りあげるという達成感の共有をめざす。		
評価方法 提出物、出席状況、学習態度等を参考に総合的に評価する。		
テキスト 『国民の福祉の動向 2006 年』	著者 厚生統計協会編	出版社 厚生統計協会
参考書 『保険と年金の動向 2006 年』 『国民衛生の動向 2006 年』 『厚生労働白書（平成 18 年版）』 『社会福祉 6 法 2007 年』 『社会福祉小 6 法 2007 年』 その他適宜紹介する。	著者 厚生統計協会編 厚生統計協会編 厚生労働省編 指定しない。 指定しない。	出版社 厚生統計協会 厚生統計協会 ぎょうせい 指定しない。 指定しない。
授業スケジュール・内容 1. 前期オリエンテーション 2. 社会福祉士国家試験の実際 3. 受験に必要な科目と履修科目の確認 4. 履修計画作成 5. 社会福祉の職場と社会福祉士 6. 前期の学習課題の確認 7. 参考資料の収集と共有 1 8. 参考資料の収集と共有 2 9. 学習ノート作成と共有 1 10. 学習ノート作成と共有 2 11. 学習ノート作成と共有 3 12. 学習ノート作成と共有 4 13. 学習ノート作成と共有 5 14. 学習ノート作成と共有 6 15. 前期の学習の到達度と課題の確認 16. 後期オリエンテーション 17. 履修状況の確認と履修計画作成 18. 社会保障・社会福祉の現状と動向の理解 1 19. 社会保障・社会福祉の現状と動向の理解 2 20. 後期の学習課題の確認 21. 参考資料の収集と共有 1 22. 参考資料の収集と共有 2 23. 学習ノート作成と共有 1 24. 学習ノート作成と共有 2 25. 学習ノート作成と共有 3 26. 学習ノート作成と共有 4 27. 学習ノート作成と共有 5 28. 社会福祉士国家試験にチャレンジ 29. 学習の到達度と課題の確認 30. まとめ		